

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

## ★出生率一・二八八

二〇〇四年の出生率が発表されました。小数点二位までだと二〇〇三年の一・二九と同じですが、厳密に言うとき、一・二八八。また低下です。さて、どうしたものでしょうか。この問題、三つの視点に分けて考えることが必要です。

第一は人口減少そのものへの対策。これには女性が出産・育児を決断することの障害を取り除くことが有効です。たとえば、働いていた女性が退職して出産・育児に専念した場合の逸失所得は二千万円を上回ると言われています。復職しても非正規採用や年功賃金という壁があり、生涯所得の逸失分は相当の金額です。こういう点への対策を講じると効果があると思います。出産即人口増加ですから、第一の問題には即効薬になります。

第二は労働人口減少。第一の人口減少対策が効を奏して

子供が増え始めても、その子供たちが成長して働き始めるのは二十年先。つまり、人口減少対策は労働人口減少対策の即効薬にはなりません。したがって、労働人口減少対策、とくに目先の対策としては別の内容を考えなくてはなりません。労働生産性向上、外国人労働者の受入れ、あるいは輸入品の活用などが考えられます。輸入品は海外で生産されますので、言わば間接的に外国人労働者を活用していることになります。さらに、今は働いていない人たちに働いてもらおうという視点もありません。たとえば、OB世代、つまり高齢者の皆さんに元気なうちは働いて頂くといい視点です。

子供が増え始めても、その子供たちが成長して働き始めるのは二十年先。つまり、人口減少対策は労働人口減少対策の即効薬にはなりません。したがって、労働人口減少対策、とくに目先の対策としては別の内容を考えなくてはなりません。労働生産性向上、外国人労働者の受入れ、あるいは輸入品の活用などが考えられます。輸入品は海外で生産されますので、言わば間接的に外国人労働者を活用していることになります。さらに、今は働いていない人たちに働いてもらおうという視点もありません。たとえば、OB世代、つまり高齢者の皆さんに元気なうちは働いて頂くといい視点です。

この点は、第三の高齢者扶養の視点と関係しています。人口全体が減り、労働人口が減少しても、それで社会がうまく回るなら問題はありませんが、でも、実際はうまく回らないので少子高齢化が問題になっていきます。この対策は「高齢者を減らす」、「扶養負担を減らす」の二つしかありません。

「高齢者を減らす」ためには、高齢者の中でも働く人を増やすといったことが考えられます。また、働く人を増やすという対策には工夫の余地があります。所得が増えるとも年金が減るといふ今の仕組みは高齢者の働く意欲を低下させます。改善の余地があります。元気に働く健康を損なうことも少なくなり、「扶養負担を減らす」ことにもつながるかもしれません。

言うほど簡単なことではありませんが、こういうことを早急に考える必要があります。税金のムダ遣いも是正し、緊要度の高い社会保障制度に充当していくことも急務です。

小泉さん、目的不明の郵政民営化や不用意な外交摩擦に時間を費やしている場合ではないです。

# 覚王山近辺の名店を続々紹介します！

(タイトル文字は書家・山内美鳳さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

<今回は、「ボンショウ ナガタ」さんです>

広小路通南側、覚王山バス停近くに建つのが覚王山プラザビル。ボンショウ ナガタさんはその1階にあります。

婦人服を扱うボンショウ ナガタさん、その第一印象は、「とても入りやすいお店」。店長の永田さん、店員の田中さんの温かい雰囲気と、清潔感漂うお店の雰囲気がそう感じさせるのでしょうか。

ご自分でも洋服を作ってきた永田店長、「作る者の目で見れば粗悪な品はすぐ分かる、そういう品はお店には置けません」と語ってくださいました。

常連のお客様は、覚王山付近、名古屋市内だけでなく、遠くは横浜、神戸にもいらっしゃるとのこと。こうしたことにも、このボンショウ ナガタさんの「品揃えの確かさ」が表れていますね。皆様も、覚王山バス停付近を歩かれる際には、是非立ち寄ってみてください。

ボンショウ ナガタ: 052-751-0963

